

「学力評価スペシャリスト研修の開発・施行・改善」

調査の概要

◆課題認識

- ・「資質・能力」を育成する上で重要となるパフォーマンス評価についての知見の普及の必要性。

◆調査研究の目的

- ・「学力評価スペシャリスト」を育成する研修プログラムを開発する。

◆調査研究の方法

- ・研修プログラムの開発と実施。
- ・OECDとイギリスにおける調査。
- ・研修効果の分析。

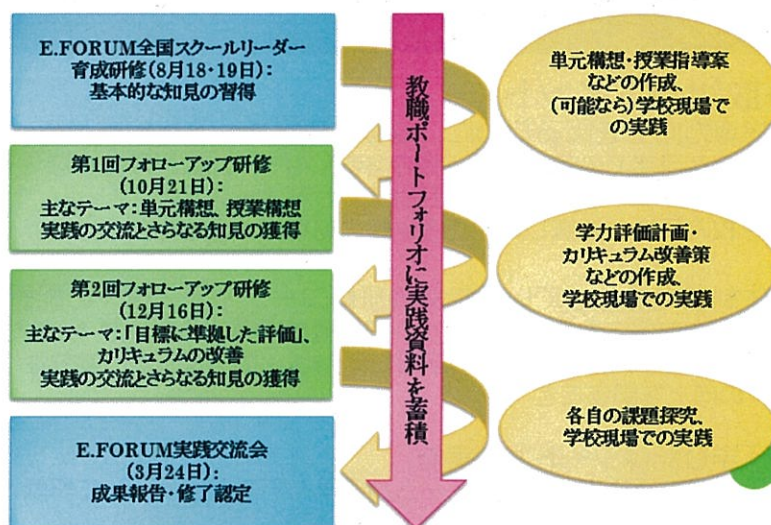
◆研修の実施状況

- ・全国スクールリーダー育成研修（2017年8月18・19日）受講者 146名
- ・第1回フォローアップ研修（2017年10月21日）受講者 19名
- ・第2回フォローアップ研修（2017年12月16日）受講者 16名
- ・実践交流会（成果報告のシンポジウムを含む）（2018年3月24日）受講者 51名

取組のポイント・成果

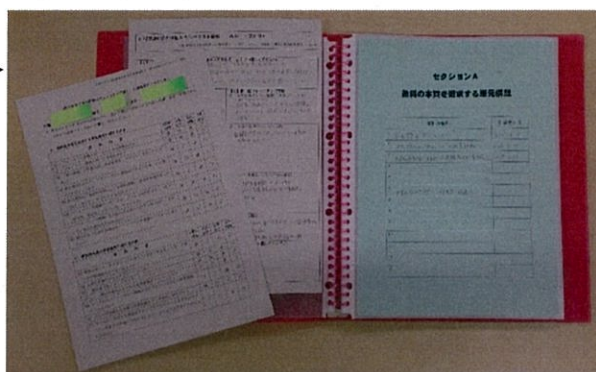
◆取組のポイントと成果

- ①「学力評価スペシャリスト研修」のプログラムの開発
 - ・新たな研修プログラムの開発
 - ・受講者の実践に対するフォローアップの提供
- ②教職ポートフォリオの開発
 - ・力量形成をとらえる5つの柱の設定
 - ・受講者の力量形成プロセスを捉える資料の蓄積
- ③評価基準（長期的ルーブリックとチェックリスト）の開発



◆教職ポートフォリオ

- 冒頭に評価基準を収録
- 下記の5つの柱で成果資料を整理
 - A. 教科の本質を追求する単元構想
 - B. 学習者主体の授業構想
 - C. 「目標に準拠した評価」の実現
 - D. カリキュラムの改善
 - E. その他



今後の課題

◆学校現場への成果の普及、支援の拡充

- ・ウェブサイト上での成果の公表（<http://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/seika/competence/>）、報告書の配付等により、教育委員会等での成果の活用を促進。
- ・代替予算の獲得による研修の継続化、大学院における教育プログラムでの活用。